

取扱説明書 詳細編

ワイヤレスプレゼンテーションシステム 業務用

品番 **TY-WPS1**
WPS 基本セット

TY-WPB1
WPS 送信機

TY-SB01WP
ワイヤレスプレゼンテーション
システム受信ボード

TY-WPSC1
WPS USB-C 基本セット

TY-WP2BC1
WPS USB-C 送信機セット

TY-WPR1
WPS 受信機

TY-WP2B1
WPS 送信機セット

TY-WPBC1
WPS USB-C 送信機

* WPS とは「Wireless Presentation System」の略称です。



PressIT

* PressIT は「Wireless Presentation System」の愛称です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(※3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TY-WPS1、TY-WPSC1、TY-WP2B1、TY-WPB1、TY-WP2BC1、TY-WPBC1、TY-SB01WP、TY-WPR1 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

日本語

もくじ

安全上のご注意	3	修理を依頼される前に…	62
はじめに	6	保証とアフターサービス	63
こんなことができます	6	仕様	64
使用上のお願い	6	ソフトウェアライセンス	66
無線 LAN について	8	商標について	66
セキュリティーに関するお願い	9		
付属品の確認	10		
各部の名称	11		
接続	14		
受信機の接続	14		
送信機の接続	15		
受信ボード取付方法	16		
基本的な使い方	19		
シングル接続	19		
マルチ接続	20		
映像の切り換えを固定する（固定モード）	21		
固定モードの設定	21		
固定モードの解除	21		
送信機の増設方法（ペアリング）	22		
受信機と送信機を接続してペアリングする	22		
USB メモリーにファイルを保存してペア リングする	23		
LAN 接続について	24		
Android 端末での使用方法（Android 5.0 以降）	25		
Android 端末でアプリを使用し、受信機が 発信する無線 LAN に接続して使用する	25		
Android 端末でアプリを使用し、外部の無 線 LAN に接続して使用する	25		
設定	27		
待機画面について	27		
Web 設定画面を表示する	29		
Web 設定画面から各種設定を行う	32		
「初期設定」メニュー（ディスプレイ設定）	45		
HDMI-CEC 機能を使う	50		
「HDコム」を使用する	53		
BQ1 のタッチパネルを接続する	53		
受信機の設置方法	54		
受信機取付金具の構成部品	54		
ベース金具の取り付け（共通）	54		
天井や壁面への取り付け	55		
ディスプレイへの取り付け	55		
プロジェクター プロフェッショナルモデル への推奨取り付け例	57		
プロジェクター システムモデルへの推奨取 り付け例	58		
プロジェクター ポータブルモデルへの推奨 取り付け例	60		
本製品で対応する映像信号	61		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

AC アダプターについて

AC アダプターや AC アダプターケーブルは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の AC アダプターや AC アダプターケーブルを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

警告

AC アダプターについて (つづき)

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方、交流 100 ~ 240 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

AC アダプターや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- AC アダプターや電源プラグの修理は、販売店にご依頼ください。

心臓ペースメーカーの装着部位から 15cm 以上離して使用してください



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内で使用しないでください



運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医療機器のある場所では使用しないでください



本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

長時間触れて使用しないでください



本機や AC アダプターの温度の高い部分に長時間触れていると、低温やけど*の原因になります。

* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

雷が鳴りだしたら本機や AC アダプターには触れないでください



感電の原因となります。

接触禁止

ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解禁止

受信機に付属のねじは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込む恐れがあります。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

警告

設置工事や取り付けは、工事専門業者または販売店にご依頼ください



工事や取り付けが不完全ですと、落下事故の原因となります。

- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

使用中は送信機の底面に触れないでください



使用中や使用後しばらくは、送信機の底面が熱くなる場合がありますので、やけどの原因になります。
また、熱に弱い物の上に置かないでください。変形や変色の原因となります。

注意

本機の通風孔をふさがないでください
風通しの悪い狭い所に押し込まないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せないでください



火災や故障の原因となることがあります。

温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

接続ケーブルを取り外すときは、必ずコネクター部を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、機器の接続ケーブルを外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

送信機に磁気カードや磁気ディスクなど磁力により影響を受けるものを近づけないでください



お手入れについて

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめに

こんなことができます

ワイヤレスプレゼンテーションシステムは、映像出力機器に表示されている画面を離れた場所に設置したディスプレイやプロジェクターにミラーリング（投映）することができます。

スマートフォンやノートパソコンなどの小さな画面を大画面で表示できますので、大型ディスプレイを使用して会議でプレゼンテーション資料を見せたいときや映像を大きなディスプレイで楽しみたいとき、ケーブルの配線が難しい場所にディスプレイを設置して映像を流したいときなどに便利です。

本システムは送信機と受信機で構成されており、映像出力機器の画像を送信機で無線 LAN（Wireless LAN）を使って受信機に送信します。

また、送信機を使わずにモバイル機器（Android 端末）から受信機に画像を送信することもできます。次のような方法で映像出力機器の画像をディスプレイやプロジェクターなどに表示できます。

- ① 送信機を使って映像出力機器の映像を受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。
- ② 専用のアプリケーションを使ってモバイル機器（Android 端末）の映像を直接受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。
- ③ 専用のアプリケーションを使ってモバイル機器（Android 端末）の映像を外部の無線 LAN 経由で受信機に送り、ディスプレイやプロジェクターに表示する。

お知らせ

- ・ご利用の環境により、アプリケーションや Web 設定の画面表示の内容が一部異なる場合があります。

使用上のお願い

■本機を運搬されるとき

運搬の際は、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。

内部の部品が痛み、故障の原因になります。

■本機を設置されるとき

屋外に設置しないでください。

電波関連の法律により、本機は屋内専用です。屋外での使用は禁止されています。

以下の場所に設置しないでください。

- ・車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- ・海の近くや腐食性ガスが発生する場所：部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- ・高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください。

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

本機の使用環境温度は、**海拔 1 400 m 未満で使用する場合は 0℃～35℃、海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満で使用する場合は 0℃～30℃**です。

本機の吸気口 / 排気口をふさいだり、吸排気を妨げたりするような状態で使用しないでください。


内部の部品が傷み、故障の原因になります。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

送信機・受信機とも常時電源を入れた状態になることは避けてください。

電源を入れたままの場合、パフォーマンスが低下する場合があります。

パフォーマンスを維持するために以下を行うことを推奨します。

- ・24 時間ごとに受信機および送信機の電源を切り、再度電源を入れる。
- ・「再起動指定」機能（ 35 ページ）を使用する。

■有線 LAN について

静電気が起きやすい場所では、十分な遮へい対策を行ってから使用してください。

じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。このような場合は、静電防止マットなどを使用して問題となる静電気やノイズ源を本機やケーブルの近くから取り除いてください。

まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置してください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

筐体の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

●ひどい汚れや指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●水滴が内部に入ると故障の原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

●ご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

●筐体の破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

アルコールのご使用について

●容量濃度 60%以下のアルコール少量を柔らかい布にひたし拭き取った後、必ず乾いた布で拭いてください。

固い布で拭いたり、強くこすったりすると傷がつく原因となりますのでご注意ください。また、故障の原因となりますので水滴が内部に入らないようにし、アルコールは直接噴霧しないでください。

●アルコール以外の消毒液を使用しないでください。

■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

無線 LAN について

無線 LAN は、5 GHz 帯域の電波を使用します。
下記の内容を十分理解してご使用ください。

本機は、屋内で使用してください。

- 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは、電波法で禁止されています。

本機の近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、本機と違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、本機からの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置してください。

国外での取り扱いについて

- 本機は、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

受信機のご使用について

- 本機は、同一の部屋において、最大 4 台の受信機を設置できます。確実に動作させるためには、それぞれの受信機が出力する無線周波数が重複しないように設定してください。
- 複数の部屋に受信機を設置する場合は、他の部屋に設置した受信機から漏れる電波の状況などにより、上記と同じく周波数が重複しないように設定することで使用できます。ただし、混信などが発生して正常に動作しない場合は、各部屋の受信機同士の直線距離を離すなどの処置を行ってください。

セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。
「デフォルトにリセット」(P.44 ページ) をご覧ください。

セキュリティ対策を十分に行ってください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をさせてしまう可能性があります。
- 本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。

WPS 基本セット TY-WPS1

WPS 受信機 (TY-WPR1)	1	WPS 送信機 (TY-WPB1)	2	送信機ケース (TY-WPC1)	1
AC アダプター (DPVF3699ZA/X1)	1	AC アダプターケーブル (DPVF3515ZA/X1)	1	HDMI ケーブル (DPVF3512ZA/X1)	1
(変換プラグ 4 個を含む)					
USB 延長ケーブル (DPVF3513ZA/X1)	2	受信機取付金具 (P.54 ページ)	1		

WPS USB-C 基本セット TY-WPSC1

WPS 受信機 (TY-WPR1)	1	WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC1)	2	送信機ケース (TY-WPC1)	1
AC アダプター (DPVF3699ZA/X1)	1	AC アダプターケーブル (DPVF3515ZA/X1)	1	HDMI ケーブル (DPVF3512ZA/X1)	1
(変換プラグ 4 個を含む)					
ペアリング用変換アダプター (DPVF3516ZA/X1)	1	受信機取付金具 (P.54 ページ)	1		

WPS 送信機セット TY-WP2B1

WPS 送信機 (TY-WPB1)	2	送信機ケース (TY-WPC1)	1	USB 延長ケーブル (DPVF3513ZA/X1)	2
----------------------------	---	---------------------------	---	-------------------------------------	---

WPS 送信機 TY-WPB1

WPS 送信機 (TY-WPB1)	1	USB 延長ケーブル (DPVF3513ZA/X1)	1
----------------------------	---	-------------------------------------	---

WPS USB-C 送信機セット TY-WP2BC1

WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC1)	2	送信機ケース (TY-WPC1)	1	ペアリング用変換アダプター (DPVF3516ZA/X1)	1
-----------------------------------	---	---------------------------	---	--	---

WPS USB-C 送信機 TY-WPBC1

WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC1)	1	ペアリング用変換アダプター (DPVF3516ZA/X1)	1
-----------------------------------	---	--	---

ワイヤレスプレゼンテーションシステム受信ボード TY-SB01WP

受信ボード* (TY-SB01WP) 1

WPS 受信機 TY-WPR1

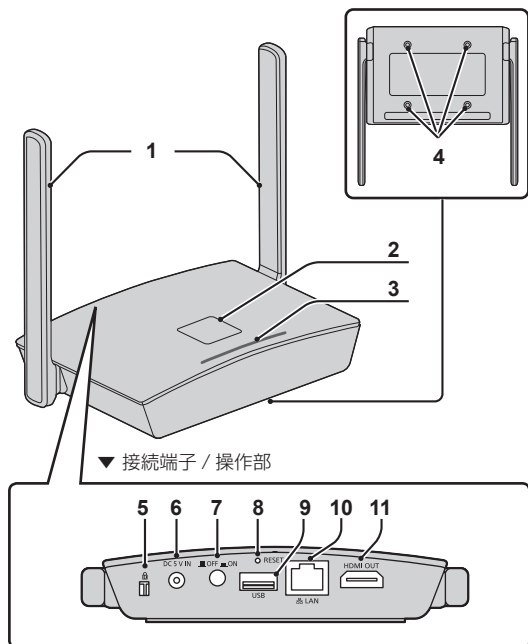
WPS 受信機 (TY-WPR1)	1	AC アダプター (DPVF3699ZA/X1)	1	AC アダプターケーブル (DPVF3515ZA/X1)	1
(変換プラグ 4 個を含む)					
HDMI ケーブル (DPVF3512ZA/X1)	1	受信機取付金具 (P.54 ページ)	1		

お願い

- ・乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- ・付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- ・付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- ・包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

各部の名称

■ 受信機 (TY-WPR1)



- 1 アンテナ
- 2 FUNCTION ボタン / LED
USB メモリーにペアリングファイルを保存するときに使用します。
- 3 インジケータ
電源の状態や LAN、USB の接続の状態を表示します。
- 4 取付金具用ねじ穴 (☞ 54 ページ)
取付金具に取り付ける場合に使用します。

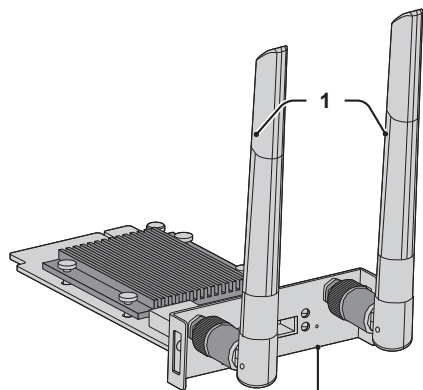
▼ 接続端子 / 操作部

- 5 セキュリティスロット
Noble Wedge スロットと互換性があります。
- 6 電源入力端子
- 7 電源ボタン
受信機の電源を切 / 入します。
- 8 リセットボタン
本機を工場出荷時の状態に戻します。「デフォルトにリセット」を選んだ場合と同じ動作です。(☞ 44 ページ)
電源を供給した状態でリセットボタンを5秒以上押しとリセットを開始します。約1分で初期化が完了します。
- 9 USB 端子 (Type-A)
ペアリングするときに送信機や USB メモリーを接続します。
HID 機器を接続して使用します。
- 10 LAN 端子 (RJ45)
ネットワークに接続して本機の設定を変更します。
- 11 HDMI 出力端子
HDMI 入力がある映像機器を接続します。

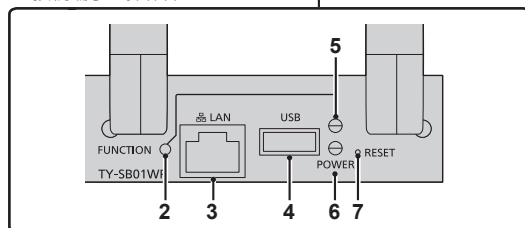
※HID 機器

対応するマウスおよびディスプレイに内蔵のタッチモジュールが動作します。動作するタッチモジュールの情報については、パナソニックの情報サイトをご覧ください。BQ1 のタッチパネルを用いて、外部接続した機器 (パソコン) を操作する場合は、BQ1 本体の設定を変更してください。(☞ 53 ページ)
これらは 1 画面表示のときのみ利用できます。HID 機器の USB ケーブルを接続した後に「Hid Driver loading...」と表示されますが、この表示が消えてから利用できます。

■ 受信ボード (TY-SB01WP)



▼ 接続端子 / 操作部



1 アンテナ

▼ 接続端子 / 操作部

2 FUNCTION ボタン

USB メモリーにペアリングファイルを保存するときに使用します。

3 LAN 端子 (RJ45)

ネットワークに接続して本機の設定を変更します。

4 USB 端子 (Type-A)

ペアリングするときに送信機や USB メモリーを接続します。
HID 機器 (マウス・タッチモジュール) を接続して使用します。
([P.11](#) ページ)

5 FUNCTION LED

ペアリングの状態を表示します。

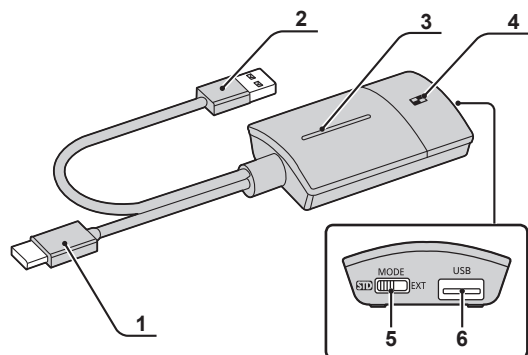
6 電源ランプ

電源の状態を表示します。

7 リセットボタン

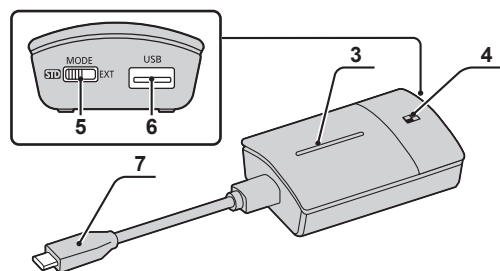
本機を工場出荷時の状態に戻します。
5 秒以上押すとリセットを開始します。

■ USB-A 送信機 (TY-WPB1)



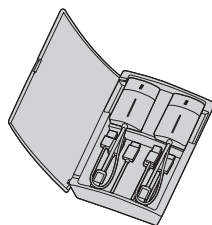
- 1 HDMI 入力端子**
HDMI 出力がある映像機器に接続します。
- 2 USB 端子 (Type-A)**
USB 給電機器に接続します。
- 3 メインボタン / LED**
映像表示の ON/OFF を切り換えます。
- 4 サブボタン / LED**
マルチ画面モードに切り換えます。
- 5 モードスイッチ**
ペアリング時に使用します。
([P.22](#) ページ)
HID 機器からの情報を受け取る際、
STD 側にセットします。
- 6 USB 端子 (Type-A)**
ペアリング時に USB メモリーを接続し
ます。
- 7 USB 端子 (Type-C)**
DisplayPort Alt Mode 出力対応の
USB Type-C 端子がある映像機器に
接続します。

■ USB-C 送信機 (TY-WPBC1)



■ 送信機ケース

送信機 2 台と USB 延長ケーブル
(TY-WPS1/TY-WP2B1/TY-WPB1
に付属) を収納できます。



接続

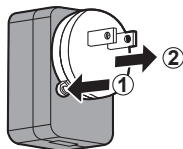
接続の前に、本システムと接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
各機器の電源を切ってからケーブルを接続してください。

受信機の接続

1 受信機に給電用の AC アダプターと AC アダプターケーブルを接続します。

▶ コンセントの形状に適合した AC アダプター変換プラグをご使用ください。

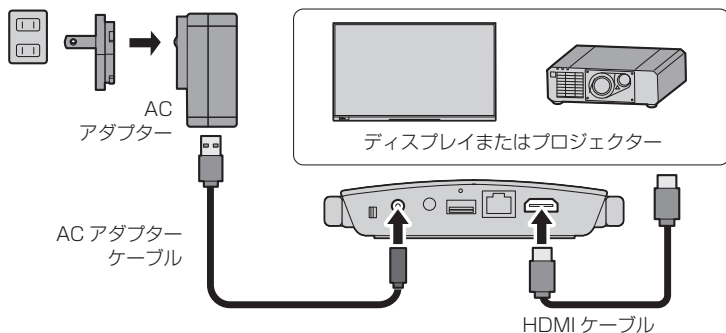
- < 外し方 > ① ボタンを押して
 ② 外す



お知らせ

- コンセントに接続した状態で AC アダプター変換プラグを外さないでください。

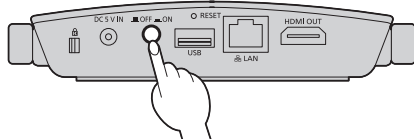
2 ディスプレイやプロジェクターなどの表示機器と受信機を HDMI ケーブルで接続します。



お知らせ

- 受信機への給電には付属品の AC アダプターまたは 5 V/2 A の USB 給電機器を使用してください。

3 受信機の電源ボタンを押し、表示機器に待機画面が表示されたら、受信機側の準備は完了です。

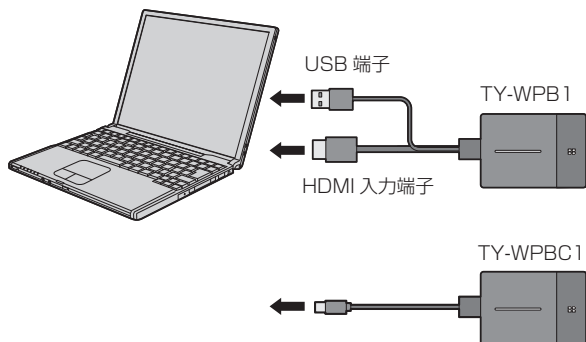


待機画面

送信機の接続

1 送信機の USB 端子と HDMI 入力端子を映像出力機器に接続します。

- 送信機への給電には 5 V/0.9 A の電源が必要です。

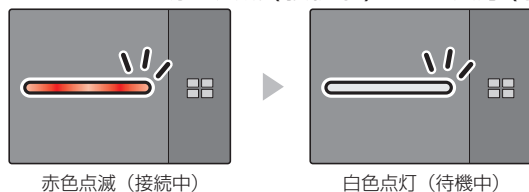


USB-C 送信機の場合は USB 端子 (Type-C) を映像出力機器に接続します。

お知らせ

- 映像出力機器の USB Type-C 端子には次の機能が必要です。機器の仕様をご確認のうえご使用ください。
 - DisplayPort Alt Mode (映像出力機能)
 - 接続した機器への給電機能 (5 V/0.9 A)

2 メイン LED は赤色点滅 (接続中) → 白色点灯 (待機中) に変わります。



赤色点滅 (接続中)

白色点灯 (待機中)

受信ボード取付方法

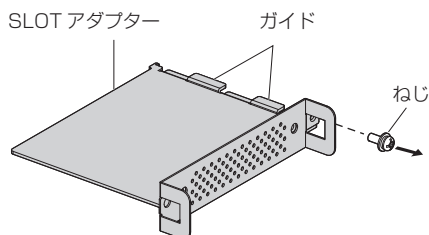
下記の取付方法の説明は、フラットパネルディスプレイ SQ1 シリーズの例です。

フラットパネルディスプレイ本体への本製品の取り付けや取り外しは、専門の技術者または販売店に依頼することをお勧めします。静電気などにより故障が発生することがあります。販売店にご相談ください。以下の手順で行ってください。

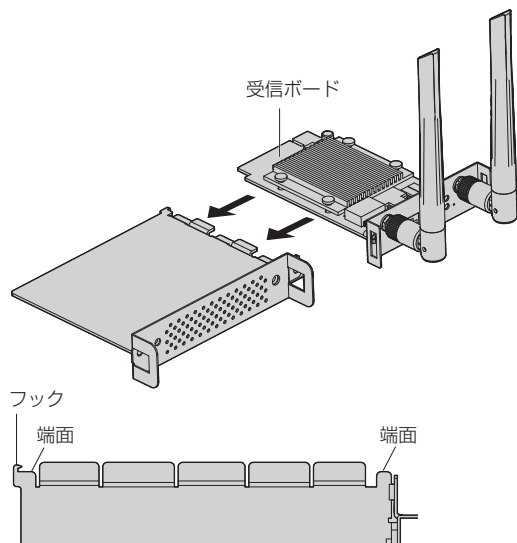
お願い

- 必ずディスプレイ本体および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルをディスプレイ本体から外してください。
- 受信ボードの取り外し、取り付け時に金具でバックカバーや表示シートに傷を付けないようにしてください。

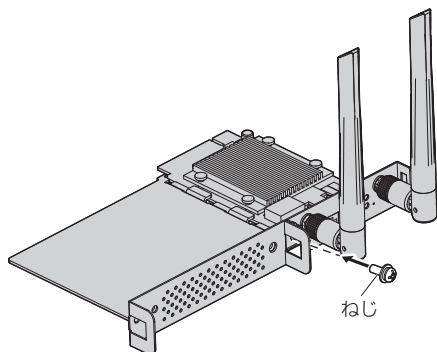
1 SLOT アダプターのガイドがある側のねじ 1 本を外す



2 SLOT アダプターのガイドに受信ボードの基板をはめ込み、基板をフック (1ヶ所) と端面 (2ヶ所) を確実に接触させる



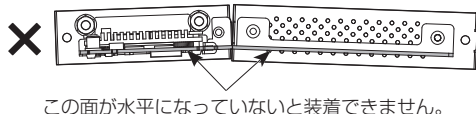
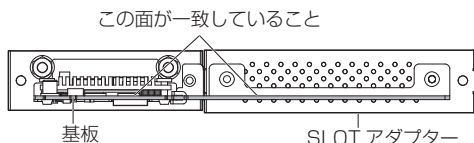
3 手順 1 で外したねじで受信ボードを SLOT アダプターに固定する



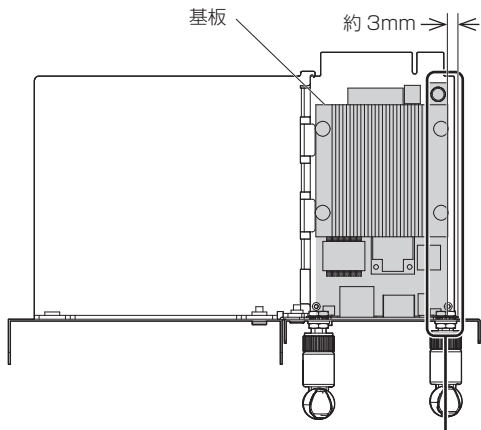
- 締め付けトルクは $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ 以下を目安として締め付けてください。

お願い

- ねじを確実に締め、SLOT アダプターのフックが基板を固定していることを確認してください。
- SLOT アダプターを取り付けた受信ボードをカバーと反対側から見たときに、SLOT アダプターと基板のそれぞれの面が一致していることを確認してください。

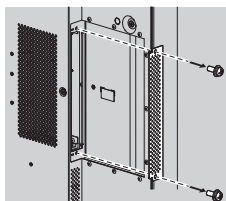


- 基板の端面から約 3mm の範囲にリード線があるとガイドレールと干渉して受信ボードを装着できません。この範囲にリード線がないことを確認してください。

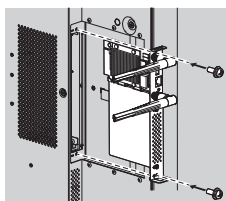


この範囲にリード線がないこと

- 4** ねじ 2 本を外し、ディスプレイ本体からスロットカバーまたは受信ボードを取り外す
受信ボードを取り外す際は、受信ボードの取っ手を持ち、ゆっくりと矢印方向に引き抜いてください。




- 5** 本体スロットに受信ボードを挿入し、ねじ 2 本を締める
手順 4 で外したねじ (2 本) で固定してください。



● 締め付けトルクは $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ 以下を目安として締め付けてください。

お知らせ

- 別の受信ボードから本製品に交換する場合、交換された受信ボードは、修理・サービスを受けられるときに必要ですので、お客様にて保管してください。

- 6** ディスプレイの電源を入れます。
7 ディスプレイの入力を SLOT に切り換えます。
8 受信ボードと送信機をペアリングします。
(初めて接続する場合  22 ページ)
9 ディスプレイに待機画面が表示されたら、受信ボード側の準備は完了です。



待機画面

基本的な使い方

シングル接続

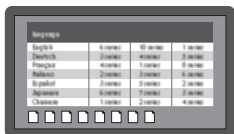
1 台の送信機を使用して映像表示する場合について説明します。

1 待機画面のときに、送信機のメインボタンを押す。

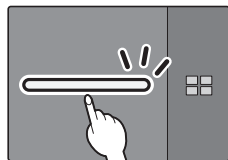
映像が表示されます。



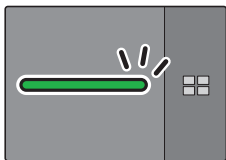
待機画面



全画面表示



白色点灯 (待機中)



緑色点灯 (表示中)

- ▶ もう一度メインボタンを押すと
メイン LED は白色に変わり、待機状態に戻ります。
(画面も待機画面に戻ります。)

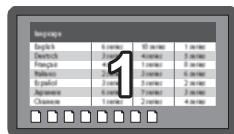
• 複数の送信機を使用した場合は、メインボタンを押した送信機の映像に切り換わります。

マルチ接続

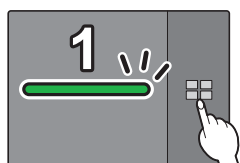
複数の送信機を使用して映像を同時に表示する場合について説明します。
最大で4台の送信機の映像を同時に表示することができます。

1 全画面表示のときに、送信機のサブボタンを1秒以上押す。

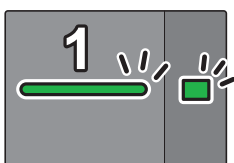
サブLEDは緑色点灯に変わり、マルチ画面モードになります。



全画面表示



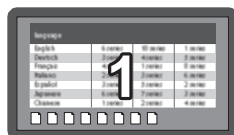
サブLED
消灯



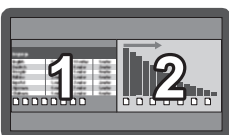
サブLED
緑色点灯
(マルチ画面モード)

2 映像を追加する送信機のメインボタンを押す。

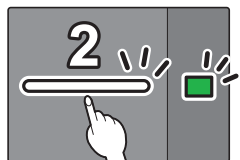
映像が追加されます。



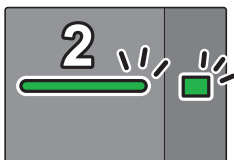
全画面表示



マルチ画面表示



白色点灯
(待機中) サブLED
緑色点灯



緑色点灯 サブLED
緑色点灯

お知らせ

- マルチ画面表示時に音声は出力されません。

▶ マルチ画面モードの解除

送信機のサブボタンを1秒以上押す。

- サブLEDは緑色点灯から消灯に変わり、マルチ画面モードは解除されます。
- メインLEDが緑色点灯のときのみマルチ画面モードは解除可能です。

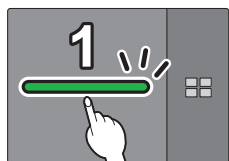
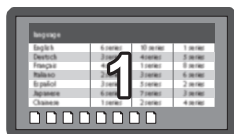
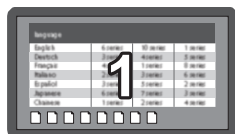
映像の切り換えを固定する（固定モード）

複数の送信機をペアリングして使用している状態で、1台の送信機の映像を表示しているときに、他の送信機からの映像に切り換えられないように設定できます。
この設定により、映像切り換えの誤操作を防ぐことができます。

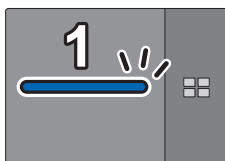
固定モードの設定

1台の送信機の映像を表示している状態で送信機のメインボタンを1秒以上押す。

メインLEDは緑色点灯→青色点灯に変わり、固定モードに入ります。

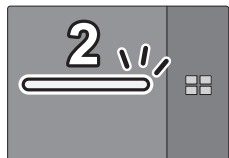


緑色点灯



青色点灯（固定モード）

その他の送信機



白色点灯（待機中）

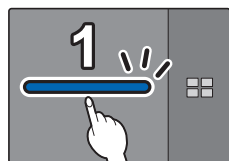


赤色点灯（操作不可）

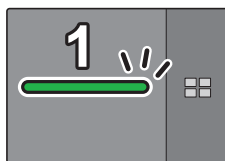
固定モードの解除

送信機のメインボタンを1秒以上押す。

メインLEDは青色点灯→緑色点灯に変わり、固定モードは解除されます。



青色点灯（固定モード）



緑色点灯（固定モード解除）

送信機の増設方法（ペアリング）

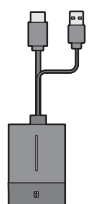
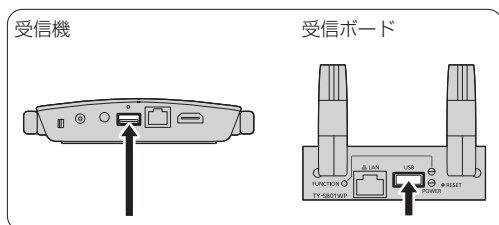
TY-WPS1 基本セット / TY-WPSC1 基本セットはそれぞれペアリング設定済みです。

受信機と送信機を接続してペアリングする

1 モードスイッチを STD 側にする。



2 送信機の USB 端子を受信機 / 受信ボードの USB 端子に接続する。



TY-WPB1



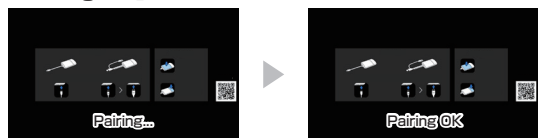
TY-WPBC1

TY-WPBC1 の接続には、TY-WPSC1/TY-WP2BC1/TY-WPBC1 に付属するペアリング用変換アダプターが必要です。

しばらく待つと受信機の LED が白色に点滅し、自動的にペアリングが開始されます。待機画面に「Pairing...」（ペアリング中）と表示されます。

3 ペアリング完了

「Pairing OK」と表示され、受信機の LED が白色に点灯します。



4 送信機の USB ケーブルを受信機から外す。

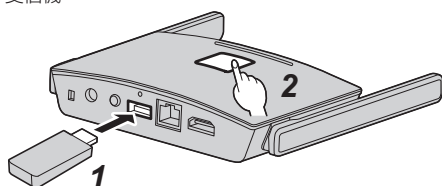
USB メモリーにファイルを保存してペアリングする

対応デバイスについて

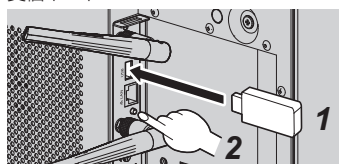
- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティー機能がついたものは非対応)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。
- USB の最大メモリーサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。
- 使用する USB メモリーには他のファイルなどがない状態でお使いください。

1 USB メモリーを受信機 / 受信ボードの USB 端子に接続する。

受信機



受信ボード

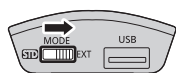


2 FUNCTION ボタンを押す。

LED は白色に点灯し、USB メモリーにペアリングファイルが保存されます。
また、待機画面に「Pairing OK」と表示されます。

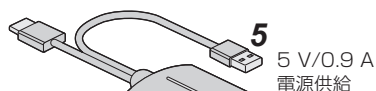
3 USB メモリーを抜く。

4 モードスイッチを EXT 側にする。

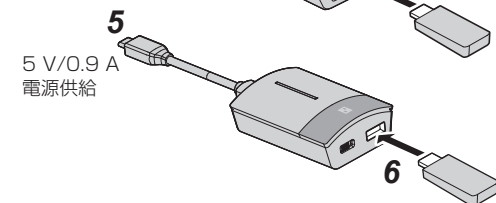


5 送信機に電源供給する。

TY-WPB1



TY-WPBC1



6 USB メモリーを送信機の USB 端子に接続する。

7 ペアリング完了

送信機のメイン LED が白色点灯します。

8 USB メモリーを送信機から外す。

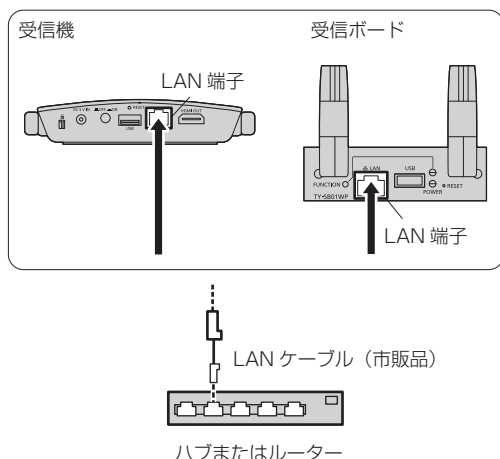
LAN 接続について

本機はネットワーク機能を備えており、有線または無線でネットワークに接続することで、遠隔で本機を管理することができます。また、受信機および送信機のソフトウェアを更新するには、接続したネットワークからインターネットにアクセスできることが必要です。

お知らせ

- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

■有線 LAN 接続



受信機の LAN 端子をネットワークに接続すると、受信機の IP アドレスは、初期設定ではルーターから DHCP 機能により自動で割り当てられる設定になっています。割り当てられた IP アドレスは、待機画面に表示されています（[27 ページ](#)⑦）。受信機 / 受信ボード（TY-WPR1/TY-SB01WP）の管理を行う場合には、この IP アドレスを使用して接続してください。

お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。

■無線 LAN 接続

受信機 / 受信ボード（TY-WPR1/TY-SB01WP）の無線機能を用いて外部無線アクセスポイントやモバイル無線 LAN ルーター（5GHz の無線 LAN のみ）へ接続し、外部のネットワークまたはインターネットに接続することができます。

Web 設定画面の「ネットワーク管理」で接続設定をしてください。（[32 ページ](#)）

お知らせ

- 本機の無線 LAN 接続機能を使って、ネットワークに接続して映像を表示（ミラーリング）した場合、映像が固まったりノイズが発生する可能性が高まります。外部の無線 LAN への接続はファームウェアの更新などを実施する場合などに限ることを推奨します。

Android 端末での使用方法（Android 5.0 以降）

Android 端末（Android 5.0 以降に対応）の映像をディスプレイやプロジェクターにミラーリング（投映）するには次の 2 通りの方法があります。無線 LAN やセキュリティなどご利用環境に合わせて使い分けることができます。

- 1 Android 端末でアプリを使用し、受信機が発信する無線 LAN に接続して使用する
- 2 Android 端末でアプリを使用し、外部の無線 LAN に接続して使用する

1 Android 端末でアプリを使用し、受信機が発信する無線 LAN に接続して使用する

こちらの方法でミラーリングする場合、Android 機器はインターネットに接続できなくなります。端末をインターネットに接続した状態でミラーリングする場合は **2** の方法でご使用ください。

- 1 受信機と表示機器を HDMI ケーブルで接続し、受信機の電源を入れる。（[☞ 14 ページ](#)）
待機画面が表示されます。「待機画面について」（[☞ 27 ページ](#)）
- 2 Google Play ストアから専用アプリ「PressIT」を Android 端末にインストールする。
下の QR コードをスキャンしてインストールすることもできます。



Web 設定画面からインストールすることもできます。（[☞ 32 ページ](#)）

3 Android 端末を、受信機が発信している無線 LAN に接続する。

無線 LAN 接続に必要な SSID およびパスワードは、待機画面の左下に表示されています。Android 端末の無線 LAN 機能をオンにして、待機画面に表示された SSID を選択してください。
*Android 端末の設定方法については、ご使用の端末の取扱説明書をご覧ください。

4 「PressIT」アプリを起動する。

送信機と同じデザインの画像が Android 端末に表示されます。画面上の送信機のメインボタンをタップしてください。（Android OS が通知を出す場合がありますので、その通知に従って操作してください。）

5 ミラーリングが開始されます。

2 Android 端末でアプリを使用し、外部の無線 LAN に接続して使用する

お知らせ

- 専用アプリをインストールする前に、受信機と Android 機器が同じ無線 LAN に接続されていることを確認してください。（[☞ 30 ページ](#)）

- 1 受信機と表示機器を HDMI ケーブルで接続し、受信機の電源を入れる。（[☞ 14 ページ](#)）
待機画面が表示されます。待機画面について（[☞ 27 ページ](#)）
- 2 Google Play ストアから専用アプリ「PressIT」を Android 端末にインストールする。
下の QR コードをスキャンしてインストールすることもできます。



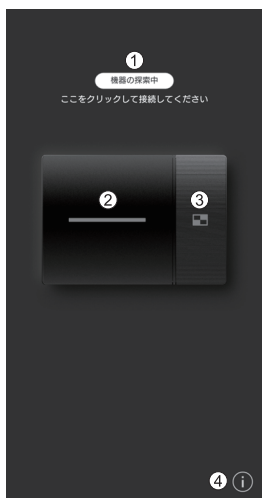
また、Web 設定画面からインストールすることもできます。（[☞ 32 ページ](#)）

3 「PressIT」アプリを起動する。

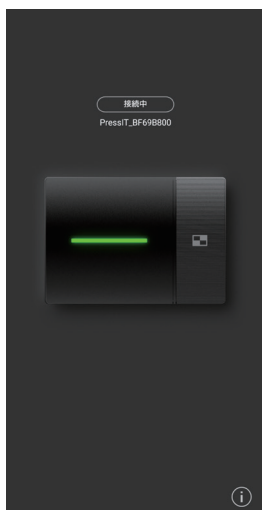
送信機と同じデザインの画像が Android 端末に表示されます。画面上の送信機のメインボタンをタップしてください。(Android OS が通知を出す場合がありますので、その通知に従って操作してください。)

4 ミラーリングが開始されます。

■「PressIT」アプリについて



- ① 「機器の探索中」をクリックすると接続されているネットワーク上の受信機のリスト（設定されている SSID）が表示されます。表示したい機器に接続してください。
- ② 送信機のメインボタンと同じ動作をします。
- ③ 送信機のサブボタンと同じ動作をします。
- ④ Android アプリの情報を表示します。



左図は、接続した状態です。この場合は映像を表示しています。アプリを終了せずにホーム画面に戻ったり、他のアプリを操作したりするとその映像がミラーリング（投映）されます。

お知らせ

- 著作権が保護されているコンテンツは表示できません。
- Android 端末の処理能力やネットワークの状況により、動画が滑らかに表示されない場合があります。
- 受信機を複数接続しているネットワーク上で接続する場合は表示する機器が複数になりますので、必ず表示する機器を間違えないようにしてください。

設定

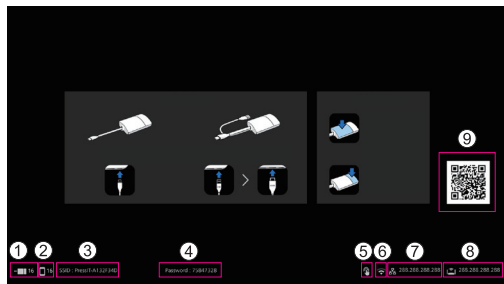
受信機の Web ページに接続して本システムの設定を行います。

待機画面について

受信機の電源を入れる则表示機器に待機画面が表示されます。

お知らせ

- 受信機と表示機器の接続については「受信機の接続」(P.14 ページ) をご覧ください。



- ① 送信機、または受信機の無線 LAN 経由で接続しているモバイル機器の接続数を表示します。
- ② 外部無線 LAN 経由で接続しているモバイル機器の接続数を表示します。
- ③ SSID を表示します。パソコンやモバイル機器から直接接続する場合に使用します。
- ④ パスワードを表示します。パソコンやモバイル機器から直接接続する場合、購入直後またはデータ初期化後に Web ページに接続したときに使用します。
- ⑤ 受信機の USB 端子にマウスまたはディスプレイのタッチモジュールを接続した場合に表示します。
- ⑥ 無線アクセスポイント/ルーターに接続した場合に表示します。
- ⑦ 有線 LAN または外部の無線 LAN アクセスポイントを経由して外部ネットワーク (LAN) に接続した場合に表示します。外部ネットワークから受信機に接続するときに、この IP アドレスを使用してください。
- ⑧ 無線 LAN の受信機 IP アドレスです。無線 LAN 接続時にはこの IP アドレスを使用してください。
- ⑨ 取扱説明書ダウンロードサイトへのリンク QR コードを表示します。

お知らせ

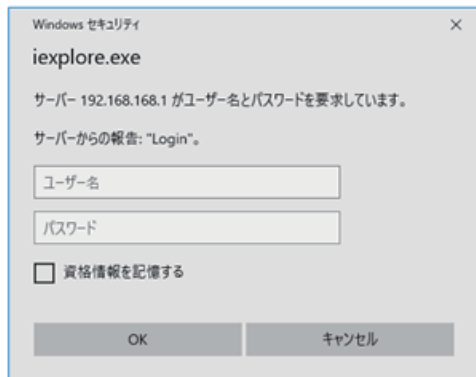
- 「デバイスの管理」 - 「言語」 で表示される言語を変更できます。(P.33 ページ)

■ 購入直後初めて接続する場合

購入直後または受信機のリセットボタンを押して初期化後に、受信機の Web ページに接続した場合には、ユーザー ID とパスワードを必要とし、その後パスワードの変更が必要です。

ユーザー ID : PressIT_admin

パスワード : 待機画面に表示されているパスワード (④) を入力してください。



最初のパスワードは変更してください。

[Admin/パスワード変更](#)

新パスワード

パスワード確認入力

変更

Web 設定画面を表示する

■ ウェブブラウザについて

Web 設定画面は、以下のウェブブラウザで操作することを推奨します。

Chrome	Ver.85.0.4183.83 以降	Firefox	Ver.80.0.1 以降
Internet Explorer	11	Safari	Ver.13.0.5 以降
Edge	Ver.84.0.522.52 以降		

■ 周囲に無線アクセスポイントがない環境で設定する場合

受信機の無線 LAN に接続し、Web 設定画面を開きます。こちらの方法でウェブ設定を操作している間、モバイル機器は一時的にインターネットに接続できなくなりますのでご注意ください。無線 LAN 接続に必要な SSID およびパスワードは、待機画面の左下に表示されています。

SSID : PressIT-A132F34D

Password : 75847328

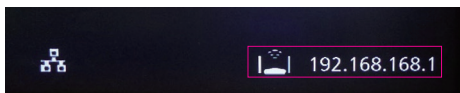
1 パソコンやモバイル機器の無線 LAN をオンにして、待機画面に表示されている SSID を選択する。

上記例 : PressIT-A132F34D

2 無線 LAN のパスワードを入力する。

上記例 : 75847328

3 接続が完了したら、待機画面右下に表示された IP アドレスを、ウェブブラウザのアドレスバーに入力して Enter を押す。



*画像の IP アドレスは一例であり、環境によって異なる場合があります。

正常に接続されると、Web 設定画面が表示されます。

パソコンからアクセスした場合の Web 設定画面



スマートフォンからアクセスした場合の Web 設定画面

18:50 192.168.168.1 53%



■ 無線 LAN (5GHz 帯) アクセスポイントを自由に使える環境で設定する場合

受信機を外部の無線 LAN に接続し、Web 設定画面を開きます。受信機が発信する無線アクセスポイントとは異なる外部の無線アクセスポイントに接続し、Web 設定画面を開くことも可能です。この方法の場合、モバイル機器をネットワークに接続したまま、Web 設定画面にログインできるという利点があります。ただし、外部の無線アクセスポイントのパスワードを事前に把握していることが前提となります。パスワード等はローカルネットワークを管理しているシステム管理者にお問い合わせください。

- 1 「周囲に無線アクセスポイントがない環境で設定する場合」(☞ 29 ページ) の手順で Web 設定画面を開いたあと、管理者権限でログインし、「ネットワーク管理」を選択する。



- 2 「5G SSID をスキャンして接続する」をクリックする。



*受信機にネットワークケーブルが接続されている場合は有線 LAN の DHCP が優先されます。

- 3 接続したい SSID を選択し、パスワードを入力する。



外部の無線アクセスポイント経由でインターネットに接続された状態



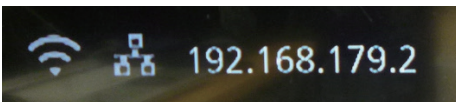
また、受信機が外部の無線アクセスポイントに接続されると、待機画面の右下に無線 LAN のアイコンが表示されます。



受信機に外部の無線アクセスポイントを記憶させたい場合は、「Wireless Access Point 設定を記憶する」を「On」にして「OK」をクリックしてください。システムが再起動します。



- 4 パソコンやモバイル機器から Web 設定画面を開くには、受信機と同じ無線アクセスポイントに接続されていることを確認し、右下に表示されている IP アドレスをウェブブラウザのアドレスバーに入力して Enter を押す。



正常に接続されると、Web 設定画面が表示されます。

パソコンからアクセスした Web 設定画面



Web 設定画面から各種設定を行う

Web 設定画面から「デバイスの管理」、「ネットワーク管理」、「詳細設定」等を含む設定変更ができます。



■ Android apk をダウンロード

Android 用アプリ (セグ 25 ページ) をダウンロードしてインストールすることができます。端末を Google Play ストアに接続できない場合にご使用ください。Web 設定画面からアプリをダウンロードした場合は、Google Play ストアからダウンロードしたものではないため、Android 端末にインストールするための確認が必要となります。Android 端末 / Android OS のバージョン情報をご確認ください。

■ ネットワーク管理

外部の無線アクセスポイント経由で受信機を外部の無線 LAN に接続することができます。

お知らせ

- 有線 LAN との併用はできません。

● 5G SSID をスキャンして接続する

本製品は 5GHz 帯域を使用している無線アクセスポイントにのみ対応しています。
モバイル機器と受信機を同一の無線アクセスポイントに接続するため、必要な SSID とパスワードを入力します。

● Wireless Access Point 設定を記憶する

一度接続した無線アクセスポイントのパスワードの接続情報を受信機に記憶させることができます。

On : 受信機に外部無線アクセスポイントの設定を記憶します。

Off : 受信機に記憶された外部無線アクセスポイントの設定を削除します。

■ デバイスの管理

Web 設定画面には、言語、解像度、最大接続数といった設定オプションがあります。

● 言語



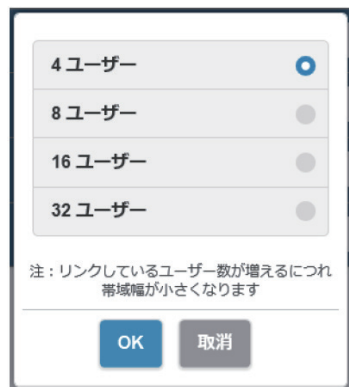
日本語を含む、英語、ドイツ語、フランス語、中国語などの主要な言語に対応しています。Web 設定画面や待機画面は選択した言語で表示されます。

● 解像度



本製品はディスプレイにとって適切な出力解像度を自動的に検出しますが、手動で切り換えることもできます。標準の出力解像度は 3840 x 2160 (30fps) です。最大で 3860 x 2160 (30fps) または 4096 x 2160 (24fps) に対応しています。なお、一般に 4K と呼ばれるのは 3840 x 2160(30fps) です。

● 最大接続数



受信機に接続する送信機やモバイル機器の数を決めることができます。最大 32 台まで接続可能ですが、初期設定では 4 台になっています。接続端末の増加に伴い、各ユーザーのネットワーク帯域幅が減少する点にご注意ください。

● Android 音声ストリーミング (ファームウェアバージョン 1.9598.583 以降)

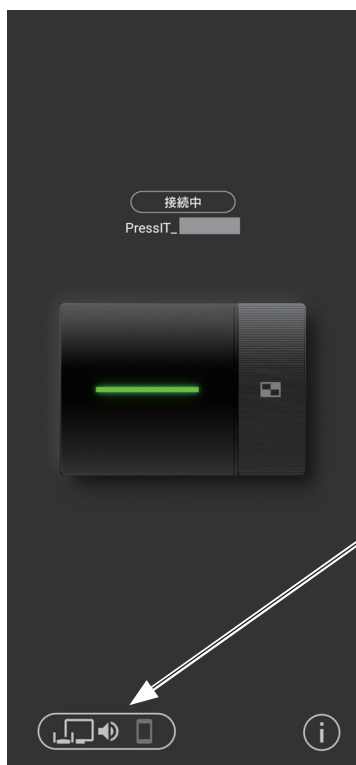


Android の音声を受信機に接続されている表示機器から出力する機能について指定します。

On : 機能を有効にします。

Off : 機能を無効にします。

「PressIT」アプリについて



「PressIT」専用の Android アプリで音声の出力状態を表示します。(アプリバージョン 0.0.14 以降)

Audio 出力状態表示を追加



Android 機器側で音声出力



ディスプレイ / プロジェクター側で音声出力

お知らせ

- 本機能は Android 機器の Bluetooth を使用しますので、設定メニューで Bluetooth を有効にしてください。

●画面モード



映像のサイズを調整します。

オリジナル： 入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。

全画面： 映像を画面いっぱいに表示します。

●再起動指定



無操作時、メニューで選択した時間後に再起動を行います。

●HDMI-CEC 制御



ディスプレイまたはプロジェクターとのリンク機能を設定します。

入力切替タイミング (ファームウェアバージョン 1.9598.583 以降)

RX 電源 ON:

受信機の電源を入れると電源 ON や入力切替を行う機能について設定します。

On： 機能を有効にします。

Off： 機能を無効にします。

TX 接続:

送信機の電源を入れると電源 ON や入力切替を行う機能について設定します。

On： 機能を有効にします。

Off： 機能を無効にします。

お知らせ

- 本機は VIERA LINK には対応していません。

●HDCP



本機の HDCP 対応を切り換えます。HDCP 非対応機器に接続する場合は、「Off」にしてください。

お知らせ

- On/Off を切り換えると、本機は自動的に再起動します。

■ 詳細設定

この設定機能は主に情報システム部門の担当者、ネットワーク管理者向けに設計されており、より詳細な設定変更を行うことができます。

● Wireless チャンネル

Wireless チャンネルを設定します。本製品には以下のオプションがあります。



チャンネル
帯域幅



※ 受信機が外部の無線アクセスポイントに接続されているときは、Wireless チャンネルの設定ができませんのでご注意ください。

● 信号の強さ (ファームウェアバージョン 1.12412.676 以降)

強度を設定します。

複数台の送信機・受信機が近接して設置されている場合などに発生する電波の干渉を抑える場合に設定します。

① 「詳細設定」画面で「信号の強さ」を選択する。

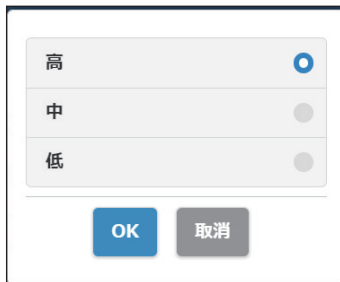


受信機と接続中の送信機一覧が表示されます。

設定を行う機器を選択します。

受信機とすべての送信機を同じ設定に変更する場合は、「All(RX+TX)」を選択してください。

② 強度を設定する。

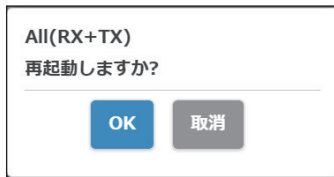


高：無線の強度を最大に設定する場合に選択してください。

中：強度を 70% に設定します。

低：強度を 40% に設定します。

③ 再起動を設定する。



設定変更の後に変更対象の機器を再起動するかどうかを設定します。
連続して複数の機器の設定を変更する場合は、「取消」を選択してください。

お知らせ

- 再起動の対象は、直前に設定を変更した機器だけです
- 「取消」を選択して複数の機器の設定を変更した場合は、手動で電源を入れ直してください。

● LAN IP 設定

IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS サーバーなどを含むネットワークの手動設定ができます。

A configuration screen for LAN IP settings. It features a toggle switch for "自動" (Automatic) set to "On". Below are input fields for "IPアドレス" (192.168.0.8), "ゲートウェイ" (192.168.0.1), "ネットマスク" (255.255.255.0), "DNS1" (192.168.0.1), and "DNS2" (empty). A note at the bottom says "OKを押すと有効になります". At the bottom are "OK" and "取消" buttons.

● SSID

SSID 名の変更、SSID の非表示、SSID の無効化ができます。

A configuration screen for SSID settings. It shows a "新しいSSID" (New SSID) field with the text "新規設定は再起動後に適用されます!" and the value "PressIT_BF69BBB4". Below are two toggle switches: "SSIDを隠す" (Hide SSID) and "SSIDをオフにする" (Turn off SSID), both set to "Off". At the bottom are "OK" and "取消" buttons.

SSID を隠す：

「On」にすることで待機画面に表示される SSID を非表示にします。

※ 設定前に必ずメモをとっておいてください。



SSID をオフにする：

「On」にすることで受信機の SSID 機能を無効にします。

送信機と受信機で通信ができなくなります。ペアリングを行っても通信ができません。



● パスワード

受信機の無線 LAN 接続パスワードを変更します。管理者はセキュリティー強化のために、待機画面で無線 LAN パスワードを非表示にすることができます。

設定できる文字種：英数字 (0～9、a～z、A～Z)

設定できる文字数：8～15文字

○ お知らせ

- パスワードを変更すると再度ペアリングを行う必要があります。

● マイスクリーン

任意の画像をアップロードすることで、待機画面の背景を変更することができます。画像の大きさは 1920 x 1080 の PNG 形式で、2MB 以下である必要があります。

○ お知らせ

- 一度背景を変更すると、元の画像に戻すには製品を初期化する必要がありますのでご注意ください。
([P.44](#) ページ「デフォルトにリセット」)



● Wireless Display (ファームウェアバージョン 1.14366.852 以降)

Wireless Display 機能を使用して、Miracast 対応のモバイル端末の画面および音声を受信機にミラーリングできます。

Wireless Display

On： 機能を有効にします。

Off： 機能を無効にします。

「Wireless Display」が「On」の時は、SSID の先頭に「DIRECT-」が付加されます。

PIN

On： 機能を有効にします。

Off： 機能を無効にします。

PIN 機能

本機能を有効にした場合、使用するモバイル端末によっては、接続時に PIN の入力を求められることがあります。その場合は、画面の下部に表示されている数字 8 桁の PIN を入力してください。

「Wireless Display」が「On」の場合の待機画面

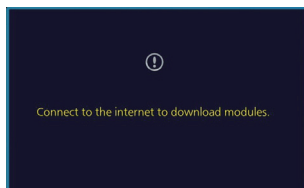


① SSID の先頭に “DIRECT-” が付加されます。

② PIN 表示

お知らせ

- Wireless Display 機能は、モバイル端末が Miracast をサポートしている場合にのみ使用できます。接続で問題が発生した場合は、使用しているオペレーティングシステムが Miracast をサポートしているかどうかを確認してください。モバイル端末の操作方法については、お使いの端末の取扱説明書などをご覧ください。
- 「マルチキャスト」が「On」の場合は Wireless Display 機能が使用できないため、「Wireless Display」を「On」にできません。
- 受信機のファームウェアバージョンを 1.12412.676 以前から 1.14366.852 以降にバージョンアップし、「Wireless Display」を「Off」から「On」にして送信機を使用する場合は、再ペアリングが必要です。
- 送信機による固定モード中は Wireless Display 機能は実行できません。
- 「Wireless Display」が「On」の場合、次のメニューは機能無効になります。
 - 最大接続数
- 「Wireless Display」が「On」の場合、次のメニューは変更不可になります。
 - SSID を隠す /SSID をオフにする
設定は強制的に「Off」になります。
 - パスワード
- 受信機のファームウェアバージョンを 1.12412.676 以前から 1.14366.852 以降にバージョンアップした場合、Wireless Display 機能のモジュールをインターネットに接続してダウンロードする必要があります。受信機をインターネット接続設定した状態で起動すると、モジュールが自動でダウンロードされます。ダウンロード完了後はインターネット接続は不要です。モジュールがダウンロードされていない場合、受信機の起動時に次のメッセージが数秒間表示されます。



● Administrator パスワード

管理者のパスワードを変更できます。セキュリティを強化するために、管理者パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

設定できる文字種：英数字（0～9、a～z、A～Z）

設定できる文字数：6～64文字

Adminパスワード変更

新パスワード

パスワード確認入力

変更

スキップ

● スクリーンセーバー

スクリーンセーバーが起動するまでの時間を指定できます。

スクリーンセーバーが起動すると、投映中の画像が消えます。

送信機のメインボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。

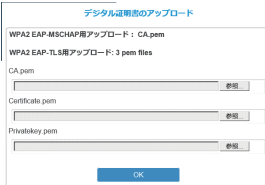


お知らせ

- 「1分」および「5分」はファームウェアバージョン 1.9598.583 以降で選択できます。

● WPA/WPA2-Enterprise

この機能を使用すると、暗号化通信に対応した電子証明書鍵ファイルをアップロードすることができます。この機能は情報システム部門の担当者、ネットワーク管理者向けに設計されています。



● アップグレード



受信機と送信機のファームウェアを最新バージョンにアップグレードすることができます。アップグレードを行うには、本製品が安定してインターネットに接続されている必要があります。

本製品の受信機と送信機のファームウェアバージョンは同一にすることを強く推奨します。

ファームウェアのアップグレードの方法は以下の通りです。

- ① 送信機を外部電源に接続します。
- ② 受信機がインターネットに接続されていること、受信機と送信機がペアリング済みであることを確認してください。
- ③ 「すべて選択」のチェックをクリックすると、受信機・送信機すべてのファームウェアを一括してアップグレードすることができます。
- ④ 「更新」ボタンをタップすると、最新ファームウェアのダウンロードを開始します。数分程度で完了しますので、そのまましばらくお待ちください。

お知らせ

- ・「詳細設定」メニューの「アップグレード」に表示されているファームウェアの更新情報には、受信機のバージョンを確認した結果を表示しています。
- ・受信機のファームウェアの更新があった場合、待機画面右下の受信機にアップデートをお知らせするマークが表示されます。

● マルチキャスト（ファームウェアバージョン 1.14366.852 以降）

1台の送信機から複数の受信機に映像および音声をミラーリングする機能です。

マルチキャスト機能を使用するには、5GHz 帯域 W52 チャンネルに固定できる無線 LAN ルーターが必要です。

事前設定 1（受信機の設定）

マルチキャストする受信機すべてで設定が必要です。

1-1 受信機をルーターに接続

Web 設定メニューの「ネットワーク管理」で、「Wireless Access Point 設定を記憶する」を「On」にし、「5G SSID をスキャンして接続する」でルーターとの接続設定をする。

受信機とルーターを有線 LAN で接続する場合、この設定は不要です。

1-2 マルチキャストメニュー設定

Web 設定メニューの「詳細設定」から「マルチキャスト」を選択する。

マルチキャスト

On：機能を有効にします。

Off：機能を無効にします。

キャストグループ

キャストグループ名を設定します（英数字 16 文字以内）。

同じキャストグループに設定した受信機に対し、マルチキャストが可能です。

セキュリティ

ルーターのセキュリティ設定を選択します。

マルチキャスト機能に対応しているものが表示されています。

マルチキャストは WPA/WPA2-Enterprise に対応していません。

デバイス名

ルーターの SSID を入力します。

パスワード

ルーターの接続パスワードを入力します。

「OK」をクリックすると、受信機が再起動します。

事前設定 2 (ペアリング)

使用する送信機と、「事前設定 1」を済ませた受信機の内 1 台とペアリングする。

事前設定完了後の待機画面



① GroupID (上で設定したキャストグループ)、“Mode: Multicast” が下部に表示されます。

② マルチ画面モードが非対応となるため、操作ガイドの表示が変わります。

③ マルチキャスト時の送信機は、外部無線 LAN 経由の接続となるため、接続数はこちらに表示されません。

お知らせ

- マルチキャスト設定を変更した場合は、送信機の再ペアリングが必要です。
- ネットワーク接続状況によってマルチキャスト動画に遅延等が生じる場合があります。遅延が気になる場合は、受信機とルーターの有線 LAN 接続をお試しください。
- 「Wireless Display」が「On」の場合はマルチキャスト機能を使用できないため、「マルチキャスト」を「On」に設定できません。
- 「マルチキャスト」が「On」の場合、次の機能は非対応になります。
 - ・マルチ画面モード
 - ・HID 機器による操作
 - ・Android/iOS 用 PressIT アプリからのミラーリング
 - ・ペアリングファイルのダウンロード
- ルーターと受信機の通信が一定時間できない場合、「マルチキャスト」が強制的に「Off」になりますのでご注意ください。ルーターと受信機の通信ができない場合、下図のように待機画面中央にメッセージが表示されます。

Failed to connect to router.
Reboot to normal operation in 293 seconds.

メッセージ表示中にルーターと受信機の通信が再開できなかった場合、「マルチキャスト」は強制的に「Off」となり、受信機は再起動します。
(再開できた場合は、マルチキャスト設定は維持されます。)

● ペアリングファイルをダウンロードする

ペアリングファイルをダウンロードして USB メモリーに保存します。ダウンロードが完了したら、「USB メモリーにファイルを保存してペアリングする」(☞ 23 ページ) の手順 5 以降を実行して、ペアリングファイルを送信機にコピーしてください。

TY-WPS1 基本セットの受信機と送信機は出荷時にペアリング済みですが、送信機を初期化した場合および追加で新しく送信機を購入した場合は、ご使用前に受信機とのペアリングが必要になります。

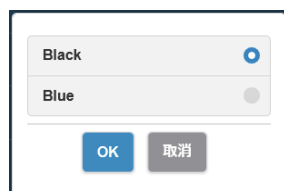
● 背景色設定

待機画面、無信号映像の背景色を指定します。

「Black」(黒) または「Blue」(青) に指定できます。

お知らせ

- マイスクリーンを指定すると本設定は反映されません。



● 日付 / 時間 設定



タイムゾーンの指定と待機画面に表示される年月日の表示形式を指定します。

日付フォーマット :

☞ 48 ページ「日時表示設定」をご覧ください。

Time Server :

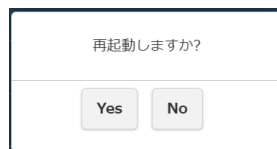
NTP サーバーを設定します。

NTP サーバーを指定しない場合は、あらかじめ登録されているサーバーにアクセスします。

日時は、以下の情報を表示します。

1. 受信機の無線 LAN または有線 LAN 経由で NTP サーバーからの取得した情報 (優先)
2. 対応ディスプレイまたはプロジェクターの HDMI-CEC からの情報

● 再起動



ファームウェアを最新バージョンにアップグレードした時や、受信機が応答していない場合には、本製品を再起動します。

「再起動」をタップして「Yes」を選択してください。

● デフォルトにリセット

RX をリセットする

TX をリセットする

RX + TX をリセットする

OKをクリックするとシステムが再起動します！
Wireless SSID以外はすべての設定がデフォルトにリセットされます。本当によいですか？

本製品を出荷時の状態に初期化します。使用言語設定、解像度、一度記憶させた無線 LAN などのカスタム設定が初期化されますのでご注意ください。(SSID は初期化されません。)

送信機を初期化すると受信機と送信機のペアリングが解除されます。初期化後に「送信機の増設方法 (ペアリング)」(22 ページ) の手順でペアリングを行ってください。

RX をリセットする：

受信機のみを初期化します。

TX をリセットする：

送信機のみを初期化します。

受信機とペアリング済みで、起動中の送信機が初期化の対象です。

RX + TX をリセットする：

受信機と送信機の両方を初期化します。

■ 基本情報

「SSID」、「ファームウェアバージョン」、「Wireless チャンネル」など、本製品に関する基本情報を表示します。送信機接続時には、送信機の基本情報も表示されます。

基本情報	
SSID : PressIT_BF9015D3	ファームウェアバージョン : 1.9598.306
IP : 192.168.168.1	インターネット IP :
MAC : D0:C0:BF:90:15:D3	LAN MAC : fe:fa:e7:08:a0:68
解像度 : 3840x2160_30P	USB Device : N/A
5G Wirelessチャンネルチャンネル : 44	Connected Devices :
帯域幅 : 20	BT Device :
	Ethernet Port : Out
	Router :

■ ソフトウェアライセンス

ソフトウェアライセンスの文章を表示します。

「初期設定」メニュー（ディスプレイ設定）

本製品を対応ディスプレイに接続して、ディスプレイの「初期設定」メニューを設定すると、以下の機能をご利用になれます。

ここではディスプレイ SQ1 シリーズでの各種設定を説明しています。その他の機種の設定についてはパナソニックの情報サイトをご覧ください。

■ 信号モード

「信号モード」サブメニュー画面（例）

HDMI 選択時

信号モード	
YUV/RGB 切換	YUV
デジタルシネマリアリティー	オフ
ノイズリダクション	オート
MPEG ノイズリダクション	オフ
信号レンジ	フル (0-255)
フレームクレーション	オフ
ダイナミックバックライト	オフ
EDID 選択	4K/60p
水平周波数	67.50 kHz
垂直周波数	30.00 Hz
ドットクロック周波数	297.00 MHz
信号フォーマット	3840x2160/30p
HDCP ステータス	保護

● EDID 選択

HDMI 端子の EDID のデータを切り換えます。

4K/60p/SDR： 4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz）に対応した EDID にします。

SDR (Standard Dynamic Range) に対応した EDID です。HDR (High Dynamic Range) には対応していません。

4K/60p/HDR： 4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 60Hz）に対応した EDID にします。

HDR (High Dynamic Range) に対応した EDID です。

4K/30p： 4K 映像信号（最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直走査周波数 30Hz）に対応した EDID にします。

2K： 2K 映像信号（最大 1 920 x 1 200 ドット）に対応した EDID にします。

お知らせ

- 本機能はパナソニック製ディスプレイ SQ1 シリーズを例として説明しています。機種により設定する項目は異なります。
- 「4K/60p/SDR」または「4K/60p/HDR」に設定した場合、4K/30p の映像を出力します。
- 設定を変更すると、10 秒程度映像が消えた後に指定の映像フォーマットが出力されます。
- Web 設定画面の「解像度」を「自動」以外に設定している場合、本メニューの設定は反映されません。
- 「ワイヤレスプレゼンテーション連携」が「オフ」の場合、本メニューを変更した後に受信機を再起動するまで設定は反映されません。

● 入力信号表示（受信ボード入力選択時）

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.72	kHz
垂直周波数	60.00	Hz
ドットクロック周波数	74.18	MHz
信号フォーマット	1080/60i	
HDCP ステータス	無し	

受信ボードの入力（SLOT）を選択している場合は、以下の情報を表示します。

- 送信機の映像を表示しているときは送信機に入力されている映像信号の情報が表示されます。
- 送信機の映像を表示していない場合（待機画面を表示中）は、受信ボードから出力している信号の情報が表示されます。

パナソニック製ディスプレイとの連携機能

本機に対応したパナソニック製ディスプレイと受信機を HDMI ケーブルで接続し、両方の電源をオンするだけで、連携した動作が可能です。（「ワイヤレスプレゼンテーション連携」を「オン」に設定する必要があります。）

次の各設定メニューで連携機能の詳細を設定します。

■ 起動設定

電源「入」時の各種設定を行います。

「起動設定」サブメニュー画面

起動設定	
スタート入力設定	オフ
電源復帰モード	ラストメモリー
スタート音量設定機能	オフ
スタート音量設定	0
起動遅延制御	オフ
お知らせ（無操作自動オフ）	オフ
お知らせ（パワーマネージメント）	オフ
クイック起動	オフ

● クイック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

オフ：電源「入」時に通常通り電源オンします。

オン：電源「入」時に素早く電源オンします。

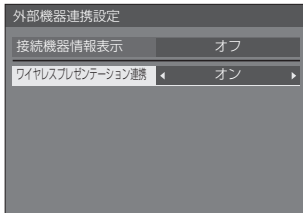
お知らせ

- 本設定が「オン」の場合、スタンバイ時の消費電力が高くなります。
- 本設定が「オン」のとき、スタンバイ状態では電源ランプは橙（赤 / 緑）色に点灯します。
- ディスプレイの USB 端子より受信機の給電を行う場合は、「オン」に設定してください。

■ 外部機器連携設定

外部接続機器との連携について設定します。

「外部機器連携設定」サブメニュー画面



● 接続機器情報表示

HDMI 端子に接続されている機器情報の表示 / 非表示を設定します。

オフ：接続機器情報が表示されません。

オン：以下のように、接続機器情報が表示されます。



お知らせ

- 信号の情報または HDMI-CEC の情報のうち取得できた内容を表示します。
- 取得できた先頭の 16 文字までを表示します。

● ワイヤレスプレゼンテーション連携

本製品とディスプレイとの連携について設定します。

オフ：本製品と連携しません。

オン：本製品と連携します。

お知らせ

- HDMI 端子に受信機が接続されている場合に連携機能が働きます。
- 以下の機能が固定されます。
 - 本機能を「オン」から「オフ」に切り換えても、これらの設定は保持されます。また、各設定メニューで変更することは可能です。
 - 「映像メニュー」が「グラフィック」に固定されます。
 - 「HDMI-CEC 制御」が「有効」、「ディスプレイ → 機器」が「電源オフ / オン」、「機器 → ディスプレイ」が「電源オフ / オン」に固定されます。
 - 「クイック起動」が「オン」に固定されます。
- 「オフ」に設定した場合でも、HDMI-CEC 機能は動作します。

■ ワイヤレスプレゼンテーション設定

お知らせ

- メニューの設定が反映されるまでに5秒程度かかる場合があります。「ワイヤレスプレゼンテーション設定」サブメニュー画面

ワイヤレスプレゼンテーション設定	
背景色設定	黒
日時表示設定	Y/M/D
言語連動	有効

● 背景色設定

黒： 待機画面、無信号映像の背景色を黒にします。

青： 待機画面、無信号映像の背景色を青にします。

お知らせ

- Web 設定画面の「マイスクリーン」機能で映像を変更した場合、本設定は反映されません。

● 日時表示設定

待機画面の年月日の表示形式を指定します。

Y-M-D 例：2021-08-24

M-D-Y 例：08-24-2021

Y/M/D 例：2021/08/24

M/D/Y 例：08/24/2021

Y.M.D 例：2021.08.24

M.D.Y 例：08.24.2021

D-M-Y 例：24-08-2021

M D,Y 例：08 24,2021

D/M/Y 例：24/08/2021

オフ： 待機画面に日時表示をしません。

D.M.Y 例：24.08.2021

お知らせ

- 「オフ」に設定した場合は、本システムの次回起動時から設定が反映されます。
- 本メニュー項目は、Web 設定画面にも同様のメニューがありますが、ディスプレイ側の設定が優先されるため、次回起動時や HDMI ケーブルの抜き差しなどを行うとディスプレイ側の設定値が反映されます。

● 言語連動

有効： 待機画面、無信号映像、Web 設定画面をディスプレイの「表示言語切換」で設定した言語にします。

無効： 待機画面、無信号映像、Web 設定画面を Web 設定画面の「言語」で設定した言語にします。

■ HDMI-CEC 設定

HDMI-CEC 機能について設定します。

HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(P. 50 ページ) をご覧ください。

「HDMI-CEC 設定」サブメニュー画面



● HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能の有効 / 無効を設定します。

無効： HDMI-CEC 制御を無効にします。

有効： HDMI-CEC 制御を有効にします。

お知らせ

- 「有効」に設定することで、本機とディスプレイの HDMI-CEC 機能が有効になります。

● HDMI 1 / HDMI 2 / SLOT

本機が接続されている端子には「PressIT」と表示されます。

● MENU コード

本システムには割り当てるコードはありません。

● ディスプレイ → 機器

ディスプレイから HDMI-CEC 対応機器への連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効： ディスプレイから機器への連動制御を無効にします。
ディスプレイの電源状態の変化で機器の電源状態は変化しません。

電源オフ： ディスプレイの電源オフ（スタンバイ）により、HDMI 1、HDMI 2 または SLOT 端子に接続されているすべての機器を電源オフ（スタンバイ）にします。
電源オン動作には連動しません。

電源オフ / オン： ディスプレイの電源オフ（スタンバイ） / オン動作に機器が連動してオフ（スタンバイ） / オンになります。

● 機器 → ディスプレイ

HDMI-CEC 対応機器からディスプレイへの連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効： 機器からディスプレイへの連動制御を無効にします。
機器の電源状態の変化でディスプレイの電源状態は変化しません。

電源オン： 機器の電源オンでディスプレイの電源をオンし、その機器の入力（HDMI1 / HDMI2 / SLOT）に切り換えます。

電源オフ / オン： 機器の電源オフ / オンにディスプレイの電源が連動します。

HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機の操作に連動してディスプレイの電源を切 / 入したり入力を切り換える機能です。

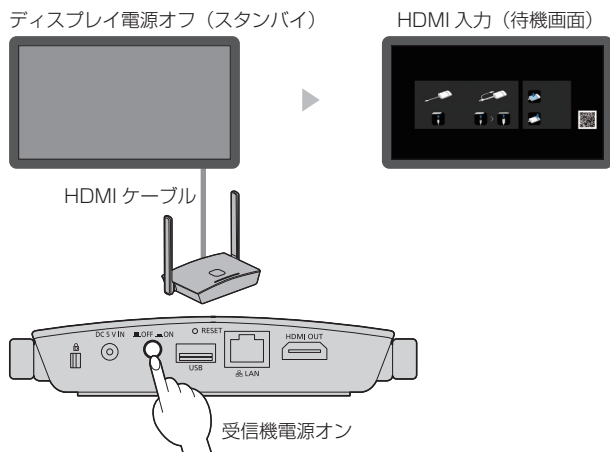
■ CEC-ON 連動

ディスプレイが電源オフ（スタンバイ状態）の場合は、電源オン（受信状態）にします。本機が接続されている入力に切り換えて本機の映像を投射します。

次の 4 通りの操作を行うことで ON 連動します。

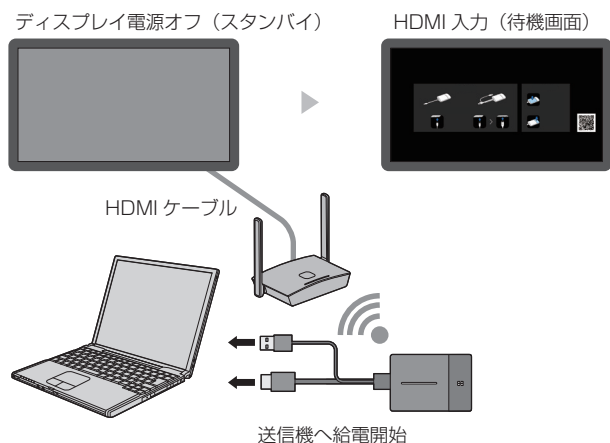
(1) 受信機の電源投入時

受信機の電源をオフからオンにしたとき、ディスプレイの電源がオンになり、受信機が接続されている入力に切り換わります。



(2) 送信機の電源投入時

送信機の USB 端子をパソコンなどに接続して給電が始まると、ディスプレイの電源がオンになり、受信機が接続されている入力に切り換わります。

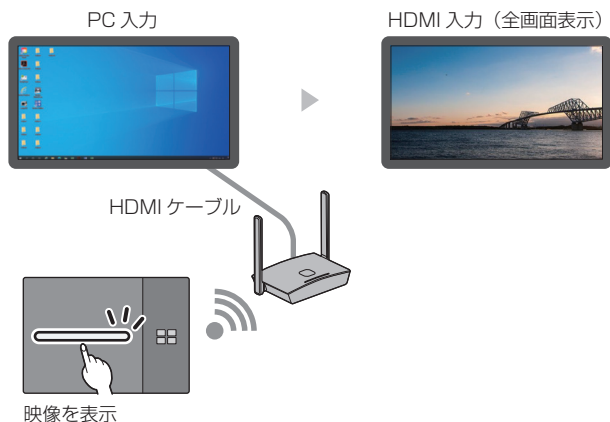


(3) 待機状態に送信機の映像を表示したとき

送信機が待機状態にあるとき、メインボタンを押して映像を受信機に送信すると、ディスプレイの電源がオンになり、映像が表示されます。

ディスプレイの入力は送信機の操作に連動して受信機が接続されている入力に切り換わります。

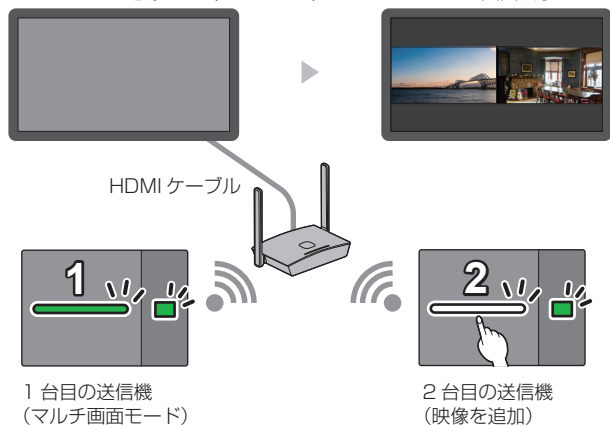
例：ディスプレイがPC入力するとき



(4) マルチ画面モード時

マルチ画面モード時にメインボタンを押して映像を追加すると、ディスプレイの電源がオンになり、マルチ画面表示になります。

ディスプレイ電源オフ (スタンバイ)

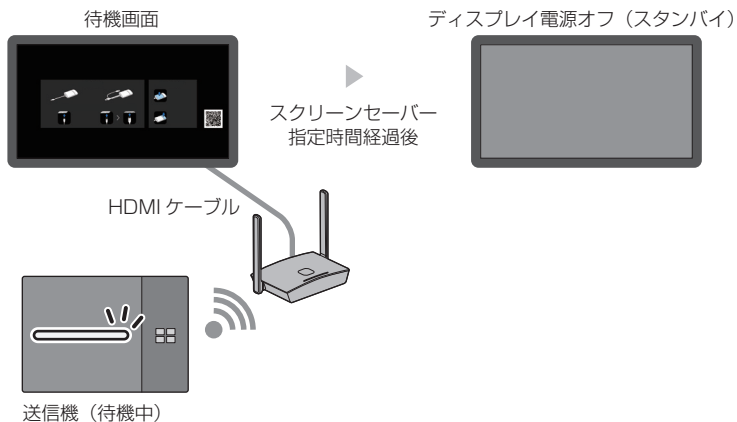


■ CEC-OFF 連動

次の 2 通りの操作を行うことでディスプレイを電源オフ（スタンバイ状態）にします。

(1) スクリーンセーバー起動時

送信機が待機状態にあるとき、本機のスクリーンセーバーが起動するとディスプレイの電源がオフになります。



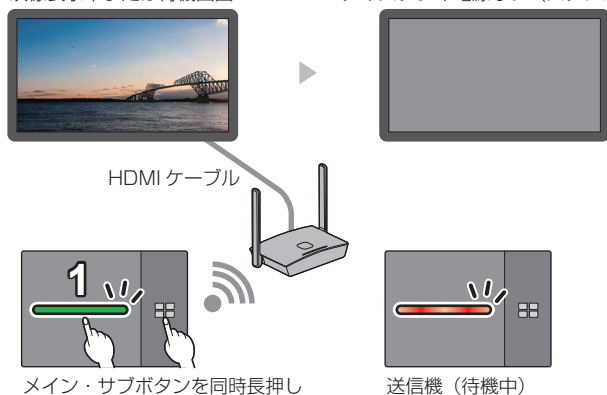
(2) 送信機の待機動作時

送信機を接続している状態で、送信機の本機ボタンとサブボタンを同時に長押しするとディスプレイの電源がオフになります。

送信機が待機状態になると、メインLEDは赤色点滅になります。

映像表示中または待機画面

ディスプレイ電源オフ (スタンバイ)



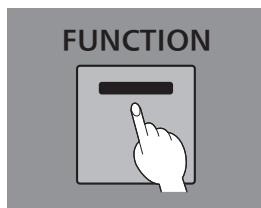
お知らせ

- 送信機を待機状態から復帰させる場合は、送信機の USB 端子を抜き差ししてください。

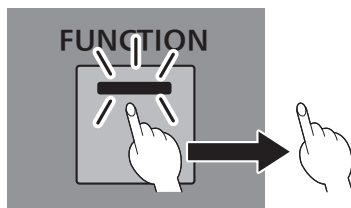
「HDコム」を使用する

本機を用いて、パナソニック製ビデオ会議システム「HDコム」のPC共有機能を含む HDCP 非対応機器で使用するには、以下の操作を行ってください。

1 受信機のFUNCTION ボタンを10秒以上押す。



2 LED が赤く点灯すれば、手をはなす。 受信機は自動的に再起動します。



お知らせ

- LED が赤く光る場合は、受信機内部の設定の「HDMI-CEC 制御」および「HDCP」が「Off」に設定され、HDCP 非対応機器を使用できます。
- LED が白く光る場合は、設定が正しく行われていないため、再度、手順を行ってください。
- FUNCTION ボタンを短く押して離す（1 秒以内）ことで、現在の機器の状態を知ることができます。
赤：非 HDCP 対応機器を使用できません。
白：非 HDCP 対応機器を使用できません。

BQ1 のタッチパネルを接続する

BQ1 のタッチパネルを用いて、外部接続した機器（パソコン）を操作する場合は、「PressIT タッチ機能」設定を変更してください。

前面の TOUCH (USB) 端子に機器が接続された際の動作を設定します。

「機器操作モード設定」サブメニュー画面



■ 自動設定

「オン」に設定すると、機器が TOUCH (USB) 端子に接続されたら、自動で機器操作モードに切り換えます。下記の操作で機器操作モードは解除されます。

- TOUCH (USB) から機器の接続が外れる。
- 入力を切り換える。
- 「タッチスクリーン設定」 - 「タッチスクリーン」を「オフ」にする。

■ 自動入力切替設定

機器操作モードに切り換わった際に、設定した入力に切り換えます

オフ（切り換えしない設定） / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DisplayPort / DVI-D / PC

■ PressIT タッチ機能

機器操作モードの切り換えタイミングを指定します。

オフ：通常動作で切り換えを行います。

オン：PressIT 用の切り換えタイミングで切り換えを行います。

お知らせ

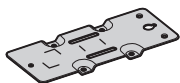
- タッチパネルを PressIT 経由でパソコンに接続する場合は、「オン」を選択してください。
- 本設定はメインソフトウェアのバージョン 2.2000 以降に表示されます。

受信機の設置方法

受信機取付金具の構成部品

以下の部品が入っていることを確認してください。

ベース金具 (A-1) …1
(DPVF3503ZA/X1)



接続金具 C (A-4) …1
(DPVF3506ZA/X1)
プロジェクターへの取り付けに使用します。(M4 × 5)



ローレットねじ (C-1) …2
(DPVF3509ZA/X1)



接続金具 A (A-2) …1
(DPVF3505ZA/X1)
ディスプレイへの取り付けに使用します。



シート A (B-1) …1
(DPVF3507ZA/X1)
(30 × 12 mm)



ねじ (C-2) …6
(DPVF3510ZA/X1)
(M4 × 5)



接続金具 B (A-3) …1
(DPVF3504ZA/X1)
ディスプレイへの取り付けに使用します。



シート B (B-2) …3
(DPVF3508ZA/X1)
(24 × 20 mm)



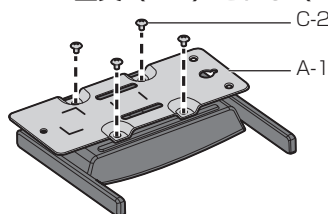
ねじ (C-3) …2
(DPVF3511ZA/X1)
(M3 × 8)



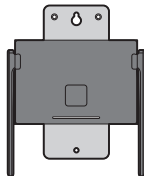
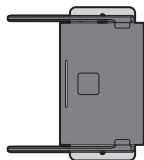
ベース金具の取り付け (共通)

1 受信機底面のねじ穴 4 ヲ所に合わせてベース金具 (A-1) を置く。

2 ベース金具 (A-1) をねじ (C-2) 4 本で固定する。



ベース金具は縦 / 横どちら向きにも取り付けできます。

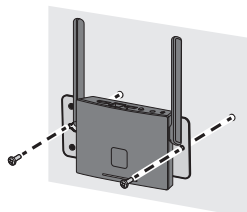


天井や壁面への取り付け

1 ベース金具 (A-1) を受信機に取り付ける。

2 ねじ 2 本で受信機を天井や壁面に固定する。

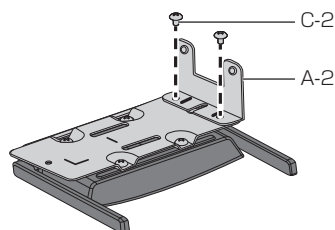
取り付ける天井や壁面の状態によって、適切な種類や長さのねじ (市販品) を使用してください。
(推奨サイズ: M4)



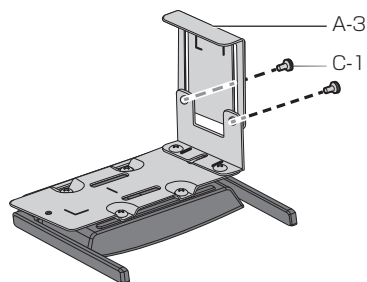
ディスプレイへの取り付け

1 ベース金具 (A-1) を受信機に取り付ける。

2 接続金具 A (A-2) をベース金具 (A-1) にねじ (C-2) 2 本で固定する。

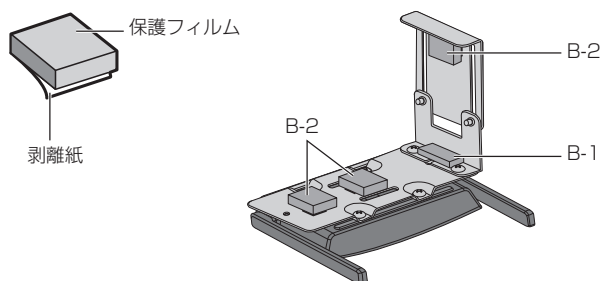


3 接続金具 B (A-3) を接続金具 A (A-2) にローレットねじ (C-1) 2 本で固定する。



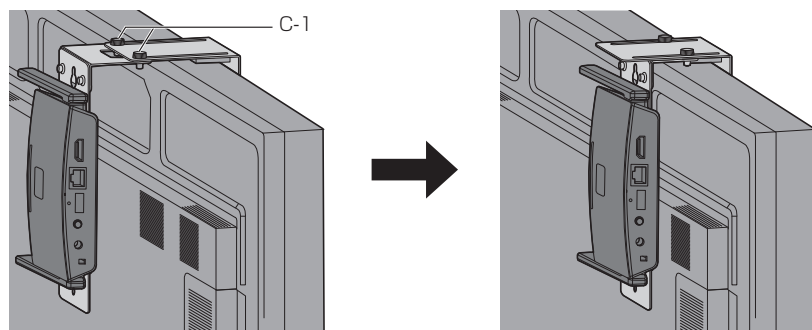
4 シート A (B-1) 1 枚およびシート B (B-2) 3 枚をケガキ線に合わせて金具に貼り付ける。

シートは両面テープの剥離紙を剥がして金具に貼り付けた後、保護フィルムを剥がしてください。



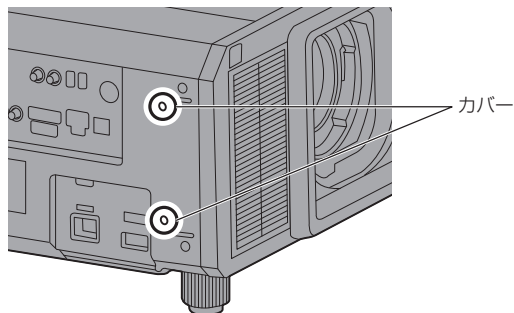
5 受信機をディスプレイ本体に取り付ける。

- ① ローレットねじ (C-1) 2 本を緩める。
- ② 取付金具の先端をディスプレイ本体に掛ける。
- ③ 取付金具でディスプレイ本体を挟み込んで、受信機を取り付ける。
- ④ ローレットねじ (C-1) 2 本を締め付ける。

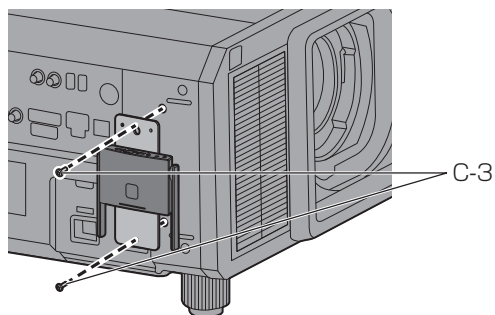


プロジェクター プロフェッショナルモデルへの推奨取り付け例

- 1 ベース金具 (A-1) を受信機に取り付ける。
- 2 プロジェクター側面の丸いカバー 2 個を剥がす。
受信機取り付け用のねじ穴が現れます。



- 3 ねじ (C-3) 2 本で受信機をプロジェクター本体に取り付ける。
ベース金具の刻印「UP」を上側にして受信機を取り付けてください。

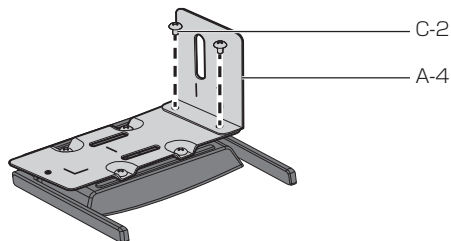


お知らせ

- イラストは PT-RZ21K です。
- プロジェクターの機種によっては、上記の方法で取り付けできない場合があります。

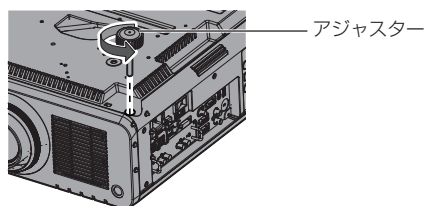
プロジェクター システムモデルへの推奨取り付け例

- 1 ベース金具 (A-1) を受信機に取り付ける。
- 2 接続金具 C (A-4) をベース金具 (A-1) にねじ (C-2) 2 本で固定する。

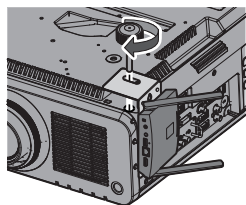


- 3 プロジェクター底面のアジャスターを反時計方向に回して取り外す。

受信機は吸排気口をふさがらない位置に取り付けてください。
取り付け時に AC コードに当たらないように注意してください。また、接続するケーブルが本体のケーブルに干渉しない向きで取り付けてください。



- 4 接続金具 C (A-4) の長穴にアジャスターを通す。
- 5 接続金具 C (A-4) が安定するようにプロジェクターに押し当てながら、アジャスターを締め付けて固定する。



お知らせ

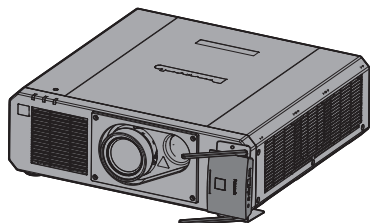
- イラストは PT-RCQ10 です。
- プロジェクターの機種によっては、上記の方法で取り付けできない場合があります。

以下の機種に受信機を取り付ける場合は、安全のため指定の位置に取り付けてください。

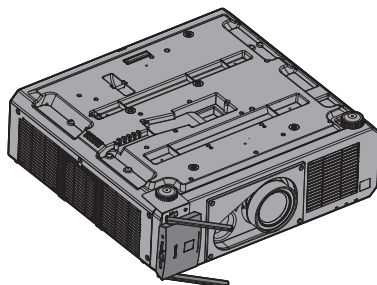
●PT-FRZ50 シリーズ (PT-FRZ50 / PT-FRZ55)

●PT-RZ570 シリーズ (PT-RZ570 / PT-RZ575)

床置き設置の場合

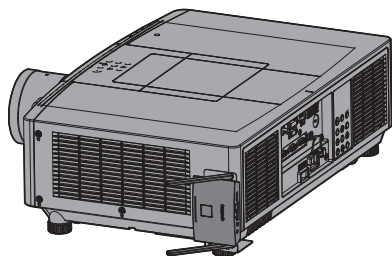


天吊り設置の場合

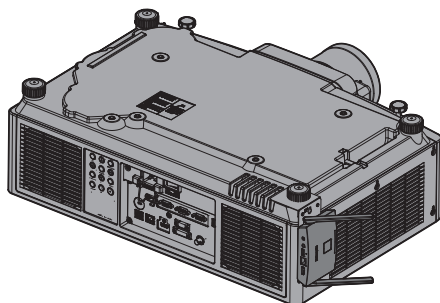


●PT-MZ16K シリーズ (PT-MZ16K / PT-MZ13K / PT-MZ10K)

床置き設置の場合



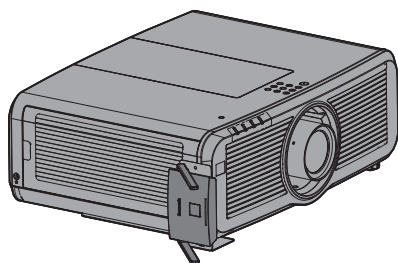
天吊り設置の場合



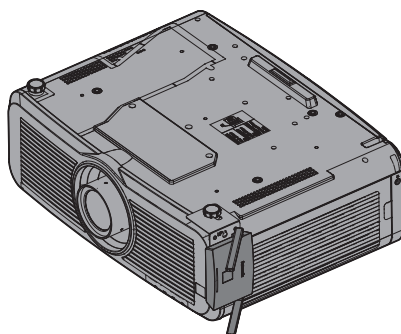
●PT-MZ770 シリーズ (PT-MZ770 / PT-MW730)

●PT-MZ670 シリーズ (PT-MZ670 / PT-MW630 / PT-MZ570 / PT-MW530)

床置き設置の場合



天吊り設置の場合



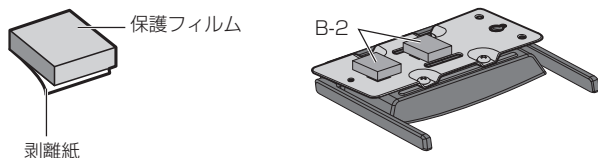
プロジェクター ポータブルモデルへの推奨取り付け例

固定用のバンドは幅 25 mm 以下の市販品をご用意ください。

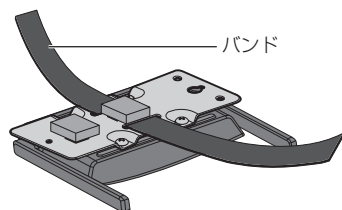
1 ベース金具 (A-1) を受信機に取り付ける。

2 シート B (B-2) 2 枚をケガキ線に合わせて金具に貼り付ける。

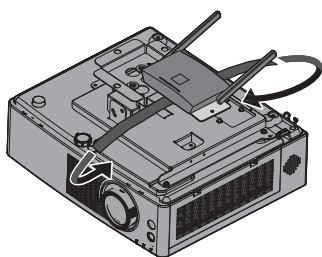
シートは両面テープの剥離紙を剥がして金具に貼り付けた後、保護フィルムを剥がしてください。



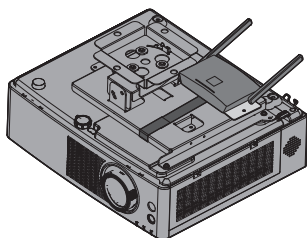
3 ベース金具 (A-1) のスリットにバンドを通す。



4 プロジェクターの天吊りベース金具上に受信機を設置する。



5 バンドを天吊りベース金具にくぐらせるように巻き付けて受信機を固定する。



お知らせ

- イラストは PT-VMZ60 です。
- プロジェクターの機種によっては、上記の方法で取り付けできない場合があります。

本製品で対応する映像信号

■ 受信機の映像出力解像度

WPS 受信機 (TY-WPR1) WPS 受信ボード (TY-SB01WP)	
HDMI 出力信号種	
3840 x 2160@30Hz RGB	1920 x 1080@24Hz
1920 x 1080@60Hz RGB	1280 x 1024@60Hz
4096 x 2160@24Hz	1280 x 960@60Hz
3840 x 2160@30Hz	1280 x 800@60Hz
3840 x 2160@25Hz	1280 x 720@60Hz
3840 x 2160@24Hz	1280 x 720@50Hz
1920 x 1080@60Hz	1024 x 768@60Hz
1920 x 1080@50Hz	800 x 600@60Hz

■ 送信機の映像入力解像度

WPS 送信機 (TY-WPB1)	WPS USB-C 送信機 (TY-WPBC1)
HDMI 入力対応信号種	USB-C 入力対応信号種
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080@60Hz
1920 x 1080@50Hz	1920 x 1080@50Hz
1920 x 1080@30Hz	1920 x 1080@30Hz
1280 x 720@60Hz	1280 x 720@60Hz
1280 x 720@50Hz	1280 x 720@50Hz

修理を依頼される前に… もう一度次の点をお調べください

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
受信機の USB 端子に送信機を接続してもペアリングが始まらない	●送信機のモードスイッチが STD 側になっていませんか。	22
ペアリングファイルを保存した USB メモリーを送信機の USB 端子に接続してもペアリングが始まらない	●送信機のモードスイッチが EXT 側になっていませんか。	23
タッチモジュールの USB ケーブルを受信機に接続してもパソコンにタッチ情報が伝達されない	●送信機のモードスイッチが STD 側になっていませんか。 ●タッチモジュールに対応していない機器があります。	11
Web 設定画面のログインパスワードを忘れてしまった	●受信機を起動した後にリセットボタンを 5 秒以上押してください。パスワードが初期化されます。	11
送信機のメイン LED・サブ LED が正常に点灯しない	●送信機に供給される電力が不足している可能性があります。送信機への給電元を変更してください。	15
HDMI-CEC 機能が動作しない	●ディスプレイやプロジェクター本体の USB 端子から受信機に電源供給する場合は、電源オフ時に電力が不足する場合があります。受信機への給電元を変更してください。	14
送信機をパソコンに接続した際にパソコンの映像が乱れる	●送信機の対応信号情報をパソコンが判断して映像を最適な解像度に変更している際に発生する現象ですが、故障ではありません	—
パソコンなどの映像を送信中にパソコン映像の解像度を変更すると、映像が乱れたり、無信号映像が表示される。	●パソコンからの信号が変化した際に発生する現象ですが、故障ではありません。	—

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、補修用性能部品を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）

9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

※携帯電話からもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

■ 受信機

品番	TY-WPR1
製品名	WPS 受信機
映像出力	HDMI × 1 (HDCP1.4)
出力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/30p (最大)
同時接続数	32
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11a/n/ac Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)
データレートワイヤレス	867 Mbps (最大)
周波数帯域	5 GHz (5.150 GHz ~ 5.250 GHz)
セキュリティ	WPA/WPA2/WPA3 (WPA3-Enterprise は非対応)
到達距離	最大 30 m (見通しの良い電波条件の良いところ)
FUNCTION LED	
白色点滅	ペアリング中
白色点灯	ペアリング完了
LAN 端子	RJ45 × 1 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応
USB 端子	USB コネクタ × 1、Type-A
電源	DC 5 V/2 A
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	120 mm × 26 mm × 81 mm (アンテナを含まない)
質量	約 181 g
動作使用条件	温度：0℃～35℃ 湿度：20%～80% (結露のないこと)
保管条件	温度：-20℃～60℃ 湿度：20%～80% (結露のないこと)

■ 受信ボード

品番	TY-SB01WP
製品名	ワイヤレスプレゼンテーションシステム受信ボード
映像出力	HDMI × 1 (HDCP1.4)
出力解像度	1920 x 1080/60p、3840 x 2160/30p (最大)
同時接続数	32
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11a/n/ac Bluetooth (GFSK, π /4-DQPSK, 8DPSK)
データレートワイヤレス	867 Mbps (最大)
周波数帯域	5 GHz (5.150 GHz ~ 5.250 GHz)
セキュリティ	WPA/WPA2/WPA3 (WPA3-Enterprise は非対応)
到達距離	最大 30 m (見通しの良い電波条件の良いところ)
FUNCTION LED	
白色点滅	ペアリング中
白色点灯	ペアリング完了
LAN 端子	RJ45 × 1 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応
USB 端子	USB コネクタ × 1、Type-A
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	82 mm × 25 mm × 122 mm (アンテナを含まない)
質量	約 125 g

■ 送信機

品番	TY-WPB1	TY-WPBC1
製品名	WPS 送信機	WPS USB-C 送信機
映像入力	HDMI × 1 (HDCP1.4)	USB Type-C × 1 (HDCP1.4、DisplayPort Alt Mode)
入力解像度	1920 x 1080/60p (最大)	
ワイヤレス通信規格	IEEE802.11ac	
データレートワイヤレス	433 Mbps (最大)	
周波数帯域	5 GHz (5.150 GHz ~ 5.250 GHz)	
セキュリティ	WPA/WPA2/WPA3 (WPA3-Enterprise は非対応)	
到達距離	最大 30 m (見通しの良い電波条件の良いところ)	
メイン LED		
白色点滅	待機中 (入力信号なし)、ペアリング中	
白色点灯	待機中、ペアリング完了	
赤色点滅	接続中	
赤色点灯	操作不可	
緑色点滅	映像表示中 (入力信号なし)	
緑色点灯	映像表示中	
青色点滅	固定モード中 (入力信号なし)	
青色点灯	固定モード中	
サブ LED		
緑色点灯	マルチ画面モード中	
USB 端子	USB コネクタ × 1、Type-A	
電源	DC 5 V/0.9 A	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	51 mm × 21 mm × 73 mm (ケーブルを含まない) 51 mm × 21 mm × 283 mm (ケーブルを含む)	51 mm × 26 mm × 73 mm (ケーブルを含まない) 51 mm × 26 mm × 178 mm (ケーブルを含む)
質量	約 110 g	約 110 g
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 35 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
保管条件	温度 : -20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社（パナソニック コネクト）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の Web 設定画面からの所定の操作によって [ソフトウェアライセンス] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標または登録商標です。
- PressIT はパナソニック ホールディングス株式会社の商標です。
- Bluetooth およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、パナソニック コネクト株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Safari は、米国および他の国々で登録された Apple LLC の商標です。
- Chrome、Android は、Google Inc. の登録商標です。
- Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の登録商標です。
- Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内のみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法
をお問い合わせください。